

健康で健やかな年となることを祈願して神事

新体制で除夜祭・歳旦祭開催 新神職・和田神官 お披露目初登壇へ

貴布禰神社（山口県下関市）は、令和7年12月31日午後11時に除夜祭、令和8年1月1日午前11時に歳旦祭を開催した。

貴布禰神社は、神社本庁の所管に属する宗教法人で、創建は江戸時代初期といわれており、御祭神は高 鬚 神、保食神、罔象女神で、その由緒は「水神を尊ぶ家庭は必ず栄える」。もと細江畔の地主神として祀られていたが、明治、大正にかけての周辺の繁栄期を経て、現在では丸山町一円の鎮守氏神であり、特に火除けの神、海上安全の守り神としての信仰が篤い。現在の幣殿、拝殿は大正15年に建てられたものであるが、本格的な権現造りであり、文化財としても注目されつつある。

当神社は境内に丸山金刀比羅神社（旧漁港の水産船舶関係者により大正11年に勧請）、稲荷神社（大正11年に遷座）、宮地嶽神社（湍



津姫、田心姫、市杵島姫を祀る。大正11年に勧請）といった攝末社（小規模神社）も併設しているが、歳旦祭において三社すべて開帳され、神事参加者は参拝した。

今回の神事では、新神職・和田克之神官がお披露目初登壇。祭員として、祓主、玉串後取、太鼓を担当し奉仕した。和田氏はコンダクトグループ（福岡県北九州市）の経営者であり、社会福祉法人つながり共創会（福岡県北九州市）や（一財）九州・山口地域共生財団（福岡県北九州市）の理事長も務めるなど多才で、神官となった経緯については、弊社発刊の東経ビジネス2025秋号、本誌（令和7

年12月8日号）などで既報の通りだが、今回ついに貴布禰神社の新神職としてデビューした。和田神官は「厳かで温かな雰囲気の中、新しい年のはじまりを貴布禰神社へご参拝いただきありがとうございます。本年も皆さまの安寧とご多幸をお祈り申し上げます。どうぞ健やかな一年をお過ごしください」とコメントしている。

今回の神事は2月3日（火）で、10時から御神札焼納式、14時から節分祭が開催される。参加無料。

【神社の概要】

名 称：貴布禰神社

住 所：山口県下関市丸山町1-2-1

